

人と自然を

未来につなぐ

自然共生都市

伊万里

# 第3次伊万里市環境基本計画 実施計画【前期】

2025年度 ▶ 2029年度





# 目次

Index

**1. 計画策定の趣旨 …2**

**2. 計画期間 …2**

**3. 施策体系 …3**

## **地球温暖化対策の推進**

1) 省エネルギーの推進 …5

2) 再生可能エネルギーの普及 …10

3) 交通の脱炭素化の推進 …11

4) 吸収源対策の推進 …13

## **循環型社会の形成**

1) ごみの発生抑制・適正処理 …14

## **自然共生社会の構築**

1) 生態系の保全 …18

2) 大気・水環境の保全 …19

3) 農地の保全 …20

## **住みよい環境づくり**

1) 騒音・振動・悪臭の防止 …21

2) 都市景観（歴史的まちなみ）の保全 …23

3) まちの美化・ペットの適正飼育 …24

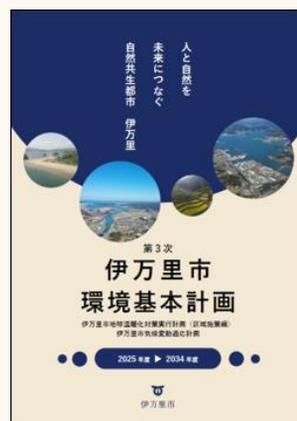
## **環境教育・学習の推進**

1) 環境教育・学習の推進 …26

2) 多様な主体の協働・連携の推進 …28

## 1. 計画策定の趣旨

近年の環境問題を取り巻く社会情勢の変化に対応するため、市全域で温室効果ガスの削減に取り組むための「伊万里市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」及び気候変動適応に関する施策を推進するための「伊万里市気候変動適応計画」を内包した「第3次伊万里市環境基本計画」を策定しました。



第3次伊万里市環境基本計画

この計画では、環境都市像として「**人と自然を未来につなぐ、自然共生都市 伊万里**」を掲げ、令和16（2034）年度を目標年次として策定しており、3つの基本目標を定め、総合的かつ計画的に環境保全の取組を進めていくため、行政（市）や市民、事業者、CSO※のそれぞれの役割を定めています。

この目標を実現するために、各主体のうち市が行うべき取組を具体的に明記し、計画的に取り組んでいくため「伊万里市環境基本計画実施計画」を策定します。

※ CSO：市民社会組織のこと。NPO法人、市民活動・ボランティア団体、自治会・町内会、老人会、PTAといった組織・団体



伊万里市が目指す環境像

## 2. 計画期間

計画の期間は令和7（2025）年度から令和11（2029）年度までの5ヶ年とします。

### 3. 施策体系

#### 地球環境・資源循環



#### 地球温暖化対策の推進

- 1) 省エネルギーの推進
- 2) 再生可能エネルギーの普及
- 3) 交通の脱炭素化の推進
- 4) 吸収源対策の推進

#### 循環型社会の形成

- 1) ごみの発生抑制・適正処理



#### 自然環境・生活環境



#### 自然共生社会の構築

- 1) 生態系の保全
- 2) 大気・水環境の保全
- 3) 農地の保全

#### 住みよい環境づくり

- 1) 騒音・振動・悪臭の防止
- 2) 都市景観（歴史的まちなみ）の保全
- 3) まちの美化・ペットの適正飼育



#### 環境保全活動



#### 環境教育・学習の推進

- 1) 環境教育・学習の推進
- 2) 多様な主体の協働・連携の推進



## 地球環境・資源循環



### 地球温暖化対策の推進

- 1) 省エネルギーの推進
- 2) 再生可能エネルギーの普及
- 3) 交通の脱炭素化の推進
- 4) 吸収源対策の推進

### 循環型社会の形成

- 1) ごみの発生抑制・適正処理

#### <基本目標>

## エネルギーを有効利用する地球にやさしいまち

#### <重点指標>

成果指標	単位	現状値	目指す方向（目標値）	
伊万里市の温室効果ガス排出量	千t-CO <sub>2</sub>	406	339	↓ 減少
伊万里市の太陽光発電設備（10kW未満）の導入件数	件	2,207	3,117	↑ 増加
森林吸収量	千t-CO <sub>2</sub>	73	73	→ 現状維持



# 地球温暖化対策の推進

## 1) 省エネルギーの推進①

取組内容	グリーンカーテンコンテストの実施					担当課	環境政策課
現状課題 具体的な取組	<p>グリーンカーテンは夏の強い日差しを和らげ、室温の上昇を抑える効果があり、身近にできる省エネ行動として市民や事業者に対し取組みを普及させていく必要がある。</p> <p>令和5年度からは、公共施設での設置に加えて、市民・事業所の意識啓発を図るためグリーンカーテンコンテストを実施している。令和7年度からは学校、保育園等の部門を追加し、コンテストを実施するとともに、広く周知を図りコンテストの応募件数を増やしていく。</p>						
成果指標 活動指標	グリーンカーテンコンテストの応募件数						
単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)	
件	14	18	18	22	22	26	



Basic Environmental Plan

iMAR!

モーモちゃんの豆知識



### グリーンカーテン

建物の窓の外にゴーヤなどのツルをはわせて、植物でつくるカーテンのことです。

「グリーンカーテン」を設置すると、夏の強い日差しを和らげ、葉の蒸散作用(水分が放出されること)によって周囲の温度が下がるため、室内に涼しい風が流れ込み、室温の上昇を抑えます。



R6 グリーンカーテンコンテスト表彰式

# 地球温暖化対策の推進

## 1) 省エネルギーの推進②

取組内容	クールシェアの実施					担当課	環境政策課
現状課題 具体的な取組	令和6年度から夏季期間の家庭等におけるエアコンの使用を減らし、公共施設等の涼しい場所で涼しさを分かち合うことで、省エネ・地球温暖化対策につながるクールシェアに取り組んでいる。今後も実施場所の確保を行うとともに、利用促進に向けて幅広く周知を行う。						
成果指標 活動指標	クールシェア実施場所						
単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)	
箇所	17	19	19	21	21	23	



クールシェアスポットステッカー

実施場所
各町コミュニティセンター（全13か所）
伊万里市役所 市民ロビー
伊万里市民センター 共有スペース
YOTTOKO
伊万里市民図書館

取組内容	オンライン手続きの推進					担当課	情報政策課
現状課題 具体的な取組	現在、市民からの各種申請や庁内の決裁は主に紙での取り扱いにしているが、DX(デジタルトランスフォーメーション)及びペーパレス化の推進に当たってはオンラインによる申請や電子決裁の導入が課題となっている。 今後は、ロゴフォームやびったりサービスを活用した手続きの電子化や、施設のオンライン予約の推進、庁内の電子決裁を進め、事務作業のペーパレス化を図っていく。						
成果指標 活動指標	紙の使用枚数（全庁）※前年度比5%減						
単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)	
枚	5,301,396	5,036,000	4,784,000	4,544,000	4,316,000	4,100,000	



# 地球温暖化対策の推進

## 1) 省エネルギーの推進③

取組内容	上下水道施設でのデマンドレスポンスの実施検討		担当課	管理課		
現状課題 具体的な取組	発電事業者（供給側）からの協力依頼に応じて事業者側（需要側）が電力の使用を調整するデマンドレスポンス(DR)の重要性が高まっている。今後、上下水道施設のDRに関する調整力を確認し、DRが実施可能か検討を進める。					
成果指標 活動指標	上下水道施設でのデマンドレスポンス(DR)の実施					
単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)
-	アグリゲーター 選定	各施設の診断 応動方法の決定 容量市場へ登録	実効性テスト	容量確保契約 締結	DR実施	DR実施

Basic Environmental Plan
iMAR!

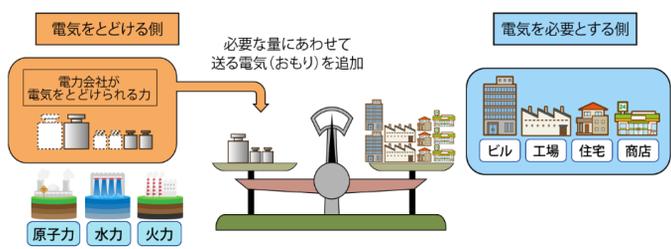
## モーモちゃんの豆知識



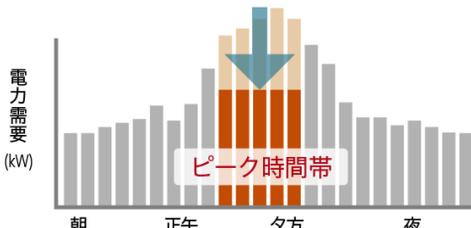
### デマンドレスポンス

私たちの生活に欠かせない電力を安定して届けるためには、電力の消費量（需要量）と発電量（供給量）のバランスが取れている必要があります。

電力の需要と供給（電力需給バランスが均等な時）



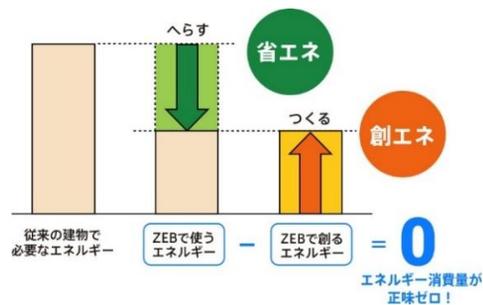
### 「デマンドレスポンス」により 電力需要をコントロール



# 地球温暖化対策の推進

## 1) 省エネルギーの推進④

取組内容	公共施設の省エネ化の推進					担当課	プロジェクト推進課 施設営繕課 施設所管課
現状課題 具体的な取組	<p>国では、省エネの推進のため 2030 年度までに LED 化率 100%を掲げるとともに、水俣条約発効に伴って水銀灯の製造・輸出入が禁止された。</p> <p>国内メーカーでは蛍光灯器具等の製造を順次終了している状況であり、本市においても、2030 年度までの LED 化率 100%を目指し、市施設への LED 照明の導入を計画的に進めていく。</p> <p>また、高効率の空調を市民図書館や本庁舎に導入するなど、施設の省エネ化を進めている。</p>						
成果指標 活動指標	公共施設のLED化率 ※市営住宅は除く						
単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)	
%	27	59	79	83	83	100	



出典：環境省HP「ZEB PORTAL」

取組内容	公共施設の ZEB 化の推進					担当課	プロジェクト推進課
現状課題 具体的な取組	<p>平成 29 年 3 月に策定した伊万里市公共施設等総合管理計画（令和 5 年 3 月改定）において、公共施設の脱炭素化など環境負荷の軽減を図ることとしている。</p> <p>今後整備を検討している国見台公園、旧市民会館跡地における複合施設についても、ZEB化など環境に配慮した施設として建設を進める。</p>						
成果指標 活動指標	新築建築物のZEB化方針の策定						
単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)	
施設	-	方針策定					

# 地球温暖化対策の推進

## 1) 省エネルギーの推進⑤

取組内容	家庭部門の省エネ化の推進				担当課	環境政策課
現状課題 具体的な取組	<p>家庭部門の主体である市民の省エネ化を図る上では、住宅のLED化やZEH化、省エネルギー機器などの導入が重要であるが、費用が高額となり導入が進んでいない現状がある（R5市アンケート調査）。                  今後は、市民や事業者が省エネに積極的に取り組むことができるよう情報発信を行うほか、市独自の補助金を創設し省エネ化を推進していく。</p>					
成果指標 活動指標	温室効果ガス排出量（家庭部門）					
単位	現状値 R3(2021年)	推計値 R4(2022年)	推計値 R5(2023年)	推計値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)
千t-CO2	51.9	50.3	48.6	47	45.4	43.7



取組内容	産業部門の省エネ化の推進				担当課	環境政策課 企業誘致・ 商工振興課
現状課題 具体的な取組	<p>「産業部門」における温室効果ガス排出割合は、国の44%や県の28%に対して伊万里市は47%（R3実績比較）と多く、その中でも製造業がほとんどを占めており、製造業の事業者が多い伊万里市では、この部門の排出量削減が重要と考えられる。                  産業部門の主体である事業者の省エネ化を図る上では、施設のLED化、高効率の空調などの導入が重要であるが、費用が高額となり導入が進んでいない現状となっている（R5市アンケート調査）。                  今後は、国が創設した各種補助制度に関する情報発信や啓発活動を行い、推進していく。</p>					
成果指標 活動指標	温室効果ガス排出量（産業部門）					
単位	現状値 R3(2021年)	推計値 R4(2022年)	推計値 R5(2023年)	推計値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)
千t-CO2	191.3	187.6	183.8	180.1	176.3	172.6



# 地球温暖化対策の推進

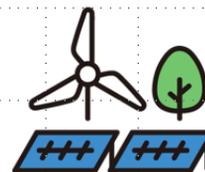
## 2) 再生可能エネルギーの普及

取組内容	家庭、事業者等への再生可能エネルギー設備の導入促進	担当課	環境政策課
現状課題 具体的な取組	<p>現在、市民向け太陽光発電設備の価格は徐々に下がっており年々導入件数が増加している。          今後は、市民や事業者がさらに積極的に取り組むことができるよう、情報発信を行うほか、さらなる促進を目指して市独自補助金の創設に向けて検討を進める。</p>		

成果指標 活動指標	伊万里市の太陽光発電設備（10kW未満）の導入件数					
単位	現状値 R4(2022年)	推計値 R5(2023年)	推計値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)
件	2,317	2,405	2,496	2,591	2,690	2,792

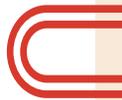
取組内容	公共施設における再生可能エネルギーによる電気の調達	担当課	環境政策課 プロジェクト推進課 施設営繕課 施設所管課
現状課題 具体的な取組	<p>国では、「2030年度には設置可能な建築物（敷地を含む。）の約50%以上に太陽光発電設備を設置することを目指す。」          「2030年度までに調達する電力の60%以上を再生可能エネルギー電力とする。」と目標を掲げており、各自治体においても、政府実行計画に準じて取り組むことが求められている。</p> <p>市では、学校やコミュニティセンターにおいて、建物の建替え・改修や補助金制度などの条件がそろった場合に、電気代の低減を目的とした太陽光発電設備の設置が検討され、一部の施設に設置されている。設置により電気代の低減や二酸化炭素の削減など一定の効果はあったものの、設備の経年劣化が進んでおり、故障等に対する改修費用は高額で費用対効果は低く、故障や売電契約の更新の際に売電を止めている状況である。</p> <p>今後は施設の耐用年数や設備導入に対する費用対効果を考慮しながら導入について検討していく必要がある。</p> <p>再エネ電力の契約については、通常の電力と比べ費用が高くなる傾向にあり、現在、伊万里市役所が事業所として排出している温室効果ガスについては、概ね順調に削減できていることから、当面は施設の省エネ化や再エネ化を優先していくこととし、啓発等を行うため情報収集を進める。</p>		

成果指標 活動指標	公共施設への再エネ発電設備などの率先導入					
単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)
-	既存設備 評価	対象施設 選定  改修内容・ 実施手法の 検討	設備導入 (実施設計→施工)			



# 地球温暖化対策の推進

## 3) 交通の脱炭素化の推進



取組内容	公共交通機関の利用促進	担当課	暮らしづくり課
現状課題 具体的な取組	<p>「運輸部門」における温室効果ガス排出割合は、県が33%、市が26%と国の19%と比較すると（R3実績比較）割合が高く、移動に車を使うことが多い佐賀県や本市においては、この運輸部門における削減が必要となる。</p> <p>市民の地域公共交通利用を促進するため、「公共交通の日」を設定しており、可能な限り公共交通の利用を促す。</p>		
成果指標 活動指標	公共交通の利用に関する市民向けチラシの発行		

単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)
回	1	1	1	1	1	1

取組内容	公用車への次世代自動車の積極的な導入	担当課	財政課
現状課題 具体的な取組	<p>次世代自動車は、窒素酸化物(Nox)や粒子状物質(PM)等の大気汚染物質の排出が少ない、または全く排出しない、燃費性能が優れているなどの環境にやさしい自動車であり、ハイブリッド自動車や電気自動車のことを指す。</p> <p>伊万里市公用車への次世代自動車の導入方針にて「2030年までに年次的に公用車に占める次世代自動車の割合を高める」を掲げ、計画的な導入をめざしている。</p>		
成果指標 活動指標	導入割合（次世代自動車台数/公用車総台数）		

単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)
%	4	5	7	10	13	17



公用車EVの活用方法をイベントで展示



# 地球温暖化対策の推進

## 3) 交通の脱炭素化の推進

取組内容	EVカーシェアリングの実施	担当課	企画政策課
現状課題 具体的な取組	EVを活用したカーシェアリング事業を令和7年3月に伊万里駅前を開始した。 また、事業の相手方である民間事業者と包括連携協定を締結し、公用車不足の解消と市民の脱炭素への意識向上、観光客などへ二次交通の選択肢の拡充を図っている。 今後は、利用者の増加に向け周知啓発活動を行う。		
成果指標 活動指標	公用車・市民・観光客の利用件数 (年間利用件数)		

単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)
件	-	330	350	370	390	410



伊万里市EVカーシェアステーション開所式

取組内容	EV充電スタンドの設置推進	担当課	環境政策課
現状課題 具体的な取組	佐賀県の令和6年3月時点の次世代自動車の普及状況は、保有台数全体に対し15%程度にとどまっており、全国平均を下回っている。PHV、EVについては3%前後で全国平均を上回っているものの、全国的な普及台数自体が少ない状況となっている。 次世代自動車の一つであるEVが普及しない要因として、充電インフラの不足などがあげられおり、国においても充電インフラの整備に関する補助が強力に行われている。 今後は、このような国の支援や企業と連携して、市内のEV充電スタンドの設置数を増やしていく。		
成果指標 活動指標	市内のEV充電スタンド設置数 ※HP:GoGoEVサイトより		

単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)
基	15	15	20	25	30	36

# 地球温暖化対策の推進

## 4) 吸収源対策の推進

取組内容	森林整備の推進	担当課	農山漁村整備課
現状課題 具体的な取組	森林は二酸化炭素を吸収しており、間伐等の適正な管理を行うことで木の生長が良くなり、その吸収量は増加する。一方で、木が高齢級化すると吸収量は低下する。 本市は面積の5割以上を山林が占めており、森林の吸収能力の向上や回復のため、森林環境譲与税を活用した各地区の間伐（経営管理権集積計画）など適正な管理や更新を推進していく必要がある。		
成果指標 活動指標	【上段】森林吸収量 【下段】間伐量（経営管理権集積計画）		

単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)
千t-CO2	73	73	73	73	73	73
ha	35	35	35	35	35	35

**Basic Environmental Plan**
iMAR!

モーモちゃんの豆知識

間伐

「間伐」をしないと木がもやし状になり、強い風が吹くといっぺんに倒れてしまう場合があります。  
 また、森林の中に光が差し込まず、地面に植物が育たなくなります。雨が降ると、地面の土が流され、山くずれも起こりやすくなります。間伐をすると、木が太く成長し、地面に植物が育ち、強い風や山くずれにも強くなります。

間伐をしなかった森林

▶

間伐をした森林

出典：林野庁HP

# 循環型社会の形成

## 1) ごみの発生抑制・適正処理①

取組内容	家庭系ごみの削減	担当課	環境政策課
現状課題 具体的な取組	<p>伊万里市の家庭系ごみの1人1日あたりの排出量は、全国平均と比べ多い状況（R5実績比較）であり、更なる排出量の抑制が必要である。</p> <p>広報紙やホームページ、SNS等を活用した市民に対する周知啓発に加えて、家庭用生ごみ処理機等購入補助や新たな資源ごみ回収に取り組み、一層のごみの排出抑制、削減を図る。</p>		
成果指標 活動指標	家庭系ごみ1人1日あたりの排出量（資源ごみ・集団回収量除く）		

単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)
g/人・日	525	521	517	513	509	505



取組内容	事業系ごみの削減	担当課	環境政策課
現状課題 具体的な取組	<p>さが西部クリーンセンターへのごみ搬入量が年間36トンを超える多量排出事業者に対して条例に基づき「事業系一般廃棄物の減量に関する計画書」の提出を義務化し、再資源化等の指導を行っている。</p> <p>今後も、事業系ごみの削減に向けて、再資源化や排出抑制に関する周知啓発を行う。</p>		
成果指標 活動指標	事業系ごみ年間の排出量		

単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)
t/年	3,967	3,957	3,947	3,937	3,927	3,917



# 循環型社会の形成

## 1) ごみの発生抑制・適正処理②

取組内容	3Rの推進	担当課	環境政策課
現状課題 具体的な取組	<p>伊万里市のリサイクル率は全国平均や佐賀県平均と比べて約2%低い状況（R5実績比較）となっている。</p> <p>現在、市で回収している資源ごみは、乾電池、蛍光灯、ビン類、ペットボトル、発泡スチロール製トレイ、リチウムイオンバッテリーの6品であり、ごみの排出抑制、減量化に取り組んでいる。</p> <p>今後も、継続して市民等に対し、広報やホームページ、SNS等を活用した周知啓発を行うとともに、新たな再資源化の取り組みとしてリサイクルの取組品目数の拡大に取り組む。</p> <p>※令和7年4月から、古着、ペットボトルキャップの拠点回収を行っている。</p>		
成果指標 活動指標	<p>【上段】リサイクル率</p> <p>【下段】リサイクル取組品目数</p>		

単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)
%	17.9	18.3	18.7	19.2	19.6	20.0
品目	6	8	9	9	9	9

取組内容	食品ロス対策の推進	担当課	環境政策課
現状課題 具体的な取組	<p>R7年1月に県内一斉フードドライブに合わせて、「伊万里市フードドライブ」を実施した。期間内に集まった食品は、伊万里実業高校フードプロジェクト部に引き渡しを行った。今後は市のイベント時や定期的な開催について検討し、取組を進める。</p>		
成果指標 活動指標	<p>フードドライブ実施回数</p>		

単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)
回	1	3	4	4	4	4



伊万里市フードドライブ

## 自然環境・生活環境



### 自然共生社会の構築

- 1) 生態系の保全
- 2) 大気・水環境の保全
- 3) 農地の保全

### 住みよい環境づくり

- 1) 騒音・振動・悪臭の防止
- 2) 都市景観（歴史的まちなみ）の保全
- 3) まちの美化・ペットの適正飼育

<基本目標>

**安心・安全・快適で  
水と緑に囲まれた魅力あるまち**

<重点指標>

成果指標	単位	現状値	目指す方向（目標値）
大気中二酸化窒素（NO <sub>2</sub> ）の環境基準達成状況（5地点）	%	100	100 → 現状維持
河川水質BOD※1の環境基準達成状況（3地点）	%	100	100 → 現状維持
海域水質COD※1の環境基準達成状況（3地点）	%	100	100 → 現状維持



# 自然共生社会の構築

## 1) 生態系の保全

取組内容	希少生物の保護活動の推進	担当課	生涯学習課
現状課題 具体的な取組	カブトガニの保護活動への理解を広げるため、最も多くカブトガニが産卵に訪れる7月に、毎年カブトガニの産卵を観る会及び幼生放流会を行っている。 カブトガニの館では、カブトガニ保護活動啓発のため、保護活動についての展示、成体の展示を行っている。		
成果指標 活動指標	「カブトガニの館」の入場者数		

単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)
人	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000

取組内容	希少生物の保護活動の推進	担当課	生涯学習課
現状課題 具体的な取組	タイワンツバメシジミについては、保存会が主体となって保護活動を行っている。保護活動を継続して行っていくためにも、後継者の確保が必要。 カブトガニについては、増殖を図るため最も外敵に狙われやすいふ化してからの1年間を人工飼育し、翌年、放流している。幼生の飼育は、市内小中学校、伊万里高校、カブトガニの館で行っている。		
成果指標 活動指標	「タイワンツバメシジミ」の保護活動等		

単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)
回	2	2	2	2	2	2



出典：写真提供者 江藤俊章氏

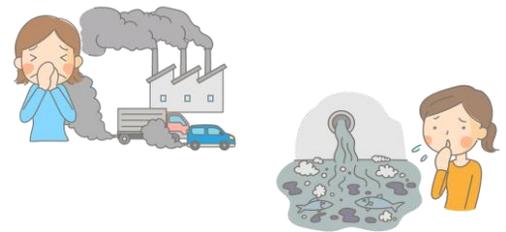
伊万里市に生息する希少種（左：カブトガニ 右：タイワンツバメシジミ）

# 自然共生社会の構築

## 2) 大気・水環境の保全①

取組内容	大気環境の把握（県の常時監視データを活用）と公表	担当課	環境政策課
現状課題 具体的な取組	<p>市内5か所に設置されている自動測定局の測定データを定期的に確認し、市内の大気環境の確認、把握に努めている。</p> <p>また、大気汚染物質の濃度が高くなる春頃には、HPや広報を通して光化学オキシダント及びPM2.5の注意喚起を行っている。</p> <p>引き続き、大気環境の監視を行っていく必要がある。</p>		
成果指標 活動指標	大気中二酸化窒素（NO <sub>2</sub> ）の環境基準値達成状況（5地点）		

単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)
%	100	100	100	100	100	100



出典：政府広報オンライン

取組内容	「水質・底質調査事業」の実施と公表	担当課	環境政策課
現状課題 具体的な取組	<p>河川、海水の水質調査、伊万里湾の底質調査及び環境センターの放流水については市で調査を行い、公共用水域等の水質状況の把握に努めている。</p> <p>①河川 3カ所 年4回 ②海水 2カ所 年4回 ③底質 3カ所 年1回 ④事業所排水 環境センター毎月測定</p> <p>引き続き調査を実施し、安心・安全な生活環境を維持していく必要がある。</p>		
成果指標 活動指標	<p>【上段】河川水質BOD※1の環境基準達成状況（3地点）</p> <p>【下段】海域水質COD※2の環境基準達成状況（2地点）</p>		

単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)
%	100	100	100	100	100	100
%	50	100	100	100	100	100

# 自然共生社会の構築

## 2) 大気・水環境の保全②

取組内容	環境保全協定締結事業所の協定内容の監視	担当課	環境政策課
現状課題 具体的な取組	環境保全協定を締結している事業所から排水の測定結果を毎月報告を受けている。各事業所、年に1回排水状況を監視確認するため、事業所排水の採水立会を実施している。 引き続き、事業活動の監視を行っていく必要がある。 ※R7年度から12事業所→13事業所に変更。		
成果指標 活動指標	事業所の採水立会件数		

単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)
件	12	13	13	13	13	13



取組内容	合併処理浄化槽設置整備の促進	担当課	管理課
現状課題 具体的な取組	生活排水に起因する環境の悪化及び公共用水域の水質汚濁を防止するため、污水处理施設の整備を促進する必要がある。 公共下水道区域と農業集落排水区域を除いた区域の合併処理浄化槽の普及率は、毎年上昇しているが、汲み取りや単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換は、費用負担が大きいため、特に高齢者世帯への普及が課題になっている。		
成果指標 活動指標	合併処理浄化槽の補助基数		

単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)
基	60	60	60	60	60	60

# 自然共生社会の構築

## 3) 農地の保全

取組内容	環境保全型農業の推進	担当課	農業振興課
現状課題 具体的な取組	化学肥料・化学合成農薬を佐賀県の慣行レベルから原則 5 割以上を低減する取組と併せて、地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果が高い営農活動に取り組む農業者団体等に対して支援（環境保全型農業直接支払交付金）を行っている。		
成果指標 活動指標	環境保全型農業直接支援対策の取組み面積		

単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)
a	1,211	1,211	1,211	1,211	1,211	1,211



Basic Environmental Plan

iMARI

モ一モちゃんの豆知識



### 環境保全型農業

「環境保全型農業」とは、堆肥（稲わら・落ち葉・家畜ふん等の有機物を腐熟させたもの）や緑肥（えん麦やソルゴー等）などを利用した土づくりを基本とし、環境への負荷を軽減するために、化学肥料や農薬を出来るだけ減らした持続性の高い農業のことです。



出典：農林水産省HP

# 住みよい環境づくり

## 1) 騒音・振動・悪臭の防止①

取組内容	自動車騒音・一般環境騒音調査の実施	担当課	環境政策課
現状課題 具体的な取組	<p>市域の事業活動に伴う騒音や振動等について、騒音規制法および振動規制法に基づき指導等を行う。工場等に設置される特定施設や特定建設作業の届出事務についても市が窓口となる。法律に基づく騒音測定として、市内主要道の自動車騒音を18区間を8年間で分割して実施している。</p> <p>また、住居地域や商業地域など一般環境騒音についても市内4カ所（年1回）で調査測定を実施している。</p>		
成果指標 活動指標	自動車騒音・一般環境騒音の環境基準達成状況		

単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)
%	100	100	100	100	100	100

取組内容	一般環境騒音調査・道路交通振動調査の実施	担当課	環境政策課
現状課題 具体的な取組	<p>一般環境騒音については、住居地域や商業地域などの市内4カ所（年1回）を市職員が調査測定を実施している。</p> <p>道路交通振動については、市内主要道の自動車振動を年に1回、市職員で測定している。主に交通量の多い道路や住民から自動車振動の苦情があった道路の振動測定を実施している。</p> <p>引き続き、一般環境騒音及び道路振動の監視を行っていく必要がある。</p>		
成果指標 活動指標	一般環境騒音・道路交通振動の環境基準達成状況		

単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)
%	100	100	100	100	100	100

# 住みよい環境づくり

## 1) 騒音・振動・悪臭の防止②

取組内容	臭気パトロールの実施	担当課	環境政策課
現状課題 具体的な取組	市域の事業活動に伴う悪臭について、悪臭規制法及び環境保全協定に基づき指導等を行う。市で年に2回、特定の企業で臭気測定を実施している。また、月に1回臭気パトロールを行い、市域の悪臭防止に努めている。 住民からの臭気に関する苦情や臭気測定での基準値超過などの課題解決に向け、臭気パトロールや事業所への指導の強化を図る必要がある。		
成果指標 活動指標	臭気パトロール件数		

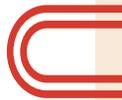
単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)
件	12	12	12	12	12	12



出典：政府広報オンライン

# 住みよい環境づくり

## 2) 都市景観（歴史的まちなみ）の保全



取組内容	景観計画の適正な運用	担当課	都市政策課
現状課題 具体的な取組	<p>伊万里市においては東山代町里地区、大川内町大川内山地区の2地区について、特色ある景観を次世代へ継承していくため、景観法に基づき両地区を対象とした伊万里市景観計画を令和5年9月に策定し、併せて、景観計画を運用するために必要な伊万里市景観条例を制定した。</p> <p>また、景観計画、景観条例は令和6年1月1日から施行している。景観計画では建築物の建築等届出対象行為を定めており、それぞれの案件ごとに柔軟な対応が必要である。</p>		
成果指標 活動指標	無届による建築等		

単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)
件	0	0	0	0	0	0



伊万里市の景観（左：里小路の矢竹生垣通り 右：鍋島藩窯 大川内山）



# 住みよい環境づくり

## 3) まちの美化・ペットの適正飼育

取組内容	湾岸清掃活動の実施	担当課	環境政策課
現状課題 具体的な取組	伊万里湾内の環境保全を図るため、伊万里湾環境保全対策協議会と連携を図りながら、市内の子ども会やスポーツ少年団、協賛団体等の参加のもと、伊万里湾岸の清掃を実施している。 R6年度は雨天により中止となったが、参加される団体に対して、ボランティア袋と軍手の配布を行った。 引き続き、市内企業・団体と協力して事前の周知啓発及び当日の清掃活動を行う。		
成果指標 活動指標	湾岸清掃活動の参加者数		

単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)
人	405	410	410	415	415	420

取組内容	狂犬病予防接種率の向上	担当課	環境政策課
現状課題 具体的な取組	4月から6月にかけて、各コミュニティセンター等で狂犬病予防集合注射を実施している。広報での呼びかけや未接種者への通知及び催告を行い、接種率の向上に努めている。 伊万里市は狂犬病予防注射接種率県内1位を維持しているが、年々接種率は低下している。広報での呼びかけ等を積極的に実施していく必要がある。		
成果指標 活動指標	狂犬病予防接種率		

単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)
%	84.66	85.00	85.00	85.00	85.00	85.00



## 環境保全活動



### 環境教育・学習の推進

- 1) 環境教育・学習の推進
- 2) 多様な主体の協働・連携の推進

#### <基本目標>

豊かな環境を  
次世代へ引き継ぐまち

#### <重点指標>

成果指標	単位	現状値	目指す方向（目標値）	
環境講座の開催数 （出前講座等を含む）	回／年	14	20	↑ 増加
「環境報告」の作成・公表	回／年	1	1	→ 現状維持



# 環境教育・学習の推進

## 1) 環境教育・学習の推進①

取組内容	環境講座の開催	担当課	環境政策課 生涯学習課
現状課題 具体的な取組	<p>身近な生活に関わる行政情報を積極的に提供し、市民参加によるまちづくりをめざすため、「まちづくり出前講座」を行っている。令和6年度は下記のとおり出前講座を行った。</p> <p>【脱炭素社会と地球温暖化対策について】 市民団体3件</p> <p>【ごみの分別とリサイクルについて】 市民団体2件、保育園2件、外国人向け1件 計5件</p> <p>【犬・ねこの飼い方について】 0件</p> <p>【伊万里の文化財（自然環境）】 2件</p> <p>また、親子を対象とした省エネ教室や経済産業省と連携し事業所向けに省エネセミナーを行った。今後は、多様なニーズに応じて講座を積極的に行う必要がある。</p>		
成果指標 活動指標	環境講座の開催数（出前講座等を含む）		

単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)
件数	10	15	15	18	18	18



エネルギーについて学ぶわくわく親子工作教室



省エネ・カーボンニュートラルキャラバンin伊万里

# 環境教育・学習の推進

## 1) 環境教育・学習の推進②

取組内容	環境報告の公表	担当課	環境政策課
現状課題 具体的な取組	市内の環境状況を把握し市民に対し適切に情報提供するため、水質等の環境調査を行う。大気については、佐賀県や九州電力が設置する大気自動測定局の情報・測定結果等を取得し、市域における大気の状態を把握しており、河川、海水の水質調査、伊万里湾の底質調査及び環境センターの放流水については、調査を行い、公共用水域等の水質状況の把握に努めている。 引き続き、調査結果については、毎年1回「環境報告」として公表し市域の生活環境の現状の周知を行う。		
成果指標 活動指標	環境報告の公表数		

単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)
回	1	1	1	1	1	1

取組内容	カーボンニュートラルライブラリー構想の推進	担当課	市民図書館
現状課題 具体的な取組	市民との協働の運営で全国でも評価が高い市民図書館は、令和7(2025)年7月に開館30周年を迎える。近年は快適な施設を目指して、エアコンなど省エネ性能が高い製品を導入するなど施設改修を実施している。 今後は再生可能エネルギーを導入するなど、新たな付加価値を加え、市の脱炭素施策導入のシンボリックな施設「カーボンニュートラルライブラリー」として、これからも市民に長く愛される図書館を目指す。		
成果指標 活動指標	【上段】カーボンニュートラルライブラリー構想の事業進捗 【下段】カーボンニュートラルライブラリーを拠点とした環境教育（セミナー等）の開催数		

単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)
-	既存設備 評価	実施設計 (北側・南側の庭) 策定	改修工事 (北側・南側の庭)	屋根などの施設改修 または 新しい設備の導入について検討		
回	2	3	3	3	3	3



ソーラーカーポートの設置



イメージ

# 環境教育・学習の推進

## 2) 多様な主体の協働・連携の推進

取組内容	事業者等との連携協定の締結	担当課	全部署
現状課題 具体的な取組	令和6年度は3社と連携協定を締結、4社と協定し事業を実施することができた。 今後も、温暖化対策を進める企業や団体と関係を強化し、連携協定や共同事業の実施を図る。		
成果指標 活動指標	事業者等との協定数		

単位	現状値 R6(2024年)	計画 R7(2025年)	計画 R8(2026年)	計画 R9(2027年)	計画 R10(2028年)	計画 R11(2029年)
協定	7	9	11	11	11	11



連携協定締結式の様子



iMAR!

## 第3次伊万里市環境基本計画 実施計画【前期】

- 発行日 令和7（2025）年9月
- 発行者 伊万里市 市民交流部 環境政策課  
〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355-1  
TEL 0955-23-2144（直通）  
<https://www.city.imari.saga.jp>